

私たちが福祉用具の安全・安心を担っています

国立身体障害者  
リハビリテーションセンター  
<http://www.rehab.go.jp>

電動車いす  
安全普及協会  
<http://www.den-ankyo.org/>

日本福祉用具  
評価センター  
<http://www.jaspec.jp>

日本福祉用具・  
生活支援用具協会  
<http://www.jaspa.gr.jp>

テクノエイド協会  
<http://www.techno-aids.or.jp/>

日本規格協会  
<http://www.jsa.or.jp/>

製品安全協会  
<http://www.sg-mark.org/>

製品評価技術基盤機構  
<http://www.nite.go.jp/>

第35回  
国際福祉機器展

ワークショップ  
「福祉用具の安全を考える」

日時：9月25日 13:30～  
場所：B会場（東5）  
定員：90名

# 福祉用具の安全を考える

国際福祉機器展2008 ワークショップ

2008年9月25日(木) 13:30~14:30

B会場 (東5ホール)

近年、ベッドや電動車いすの事故がマスメディアなどでも取り上げられ、福祉用具の安全性に関する議論が盛んになっています。福祉用具は、これまで機能面が重視され、安全性についての視点はやや遅れ気味であったことは事実です。しかし、介護保険の導入以降、高齢者を中心にその利用者は増え、事故も増加しています。それに対して、介護現場などでは事故対策も進められています。一方、福祉用具の製品そのものの安全対策については、国際規格や、国内の工業規格もあり、また、補装具給付における義肢装具等の完成用部品については、工学的試験評価やフィールドテストなどの実施が取り決められています。現在、テクノエイド協会では、福祉用具の臨床評価の検討も行われています。

このワークショップでは、福祉用具の安全性を確保するための取り組みについて、規格・標準に関する動向と、福祉用具の適合および利用の現場における安全の考え方について講演を行います。さらに、利用者の障害や個別性への対応、有用性の重視といった福祉用具の特異性にたった安全の考え方について議論します。

福祉用具の利用者、介護者、専門職、製造者など、福祉用具に関わる方すべてに関係する話題です。今後、安全性の議論は、利用現場、適合現場、製造現場のそれぞれで、もっともっと進める必要があります。是非ご参集ください

## プログラム

### 1. 福祉用具の安全に関する規格・標準の動向

講師 : 山内 繁  
(早稲田大学人間科学学術院 教授)

### 2. 福祉用具の適合および利用現場での安全性の考え方

講師 : 廣瀬 秀行  
(国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所  
高齢障害者福祉機器研究室長)

### 3. 総合討論

-----キリトリ-----

-----キリトリ-----

**ワークショップ参加申込書**

住所

氏名

電話番号

勤務先